

【WP3】大学間無線LANローミング

国立情報学研究所

上岡英史

概要

UPKIユーザが、他のUPKI参加機関を訪問した際、UPKIの仕様に基づく認証連携により、その機関が運営している無線LANインフラを利用したインターネットアクセス環境を構築する

- 本サービスの位置づけ
 - UPKIにおける組織間認証連携アプリケーション
- 対象ユーザ
 - UPKI参加機関の教職員，学生，研究員等

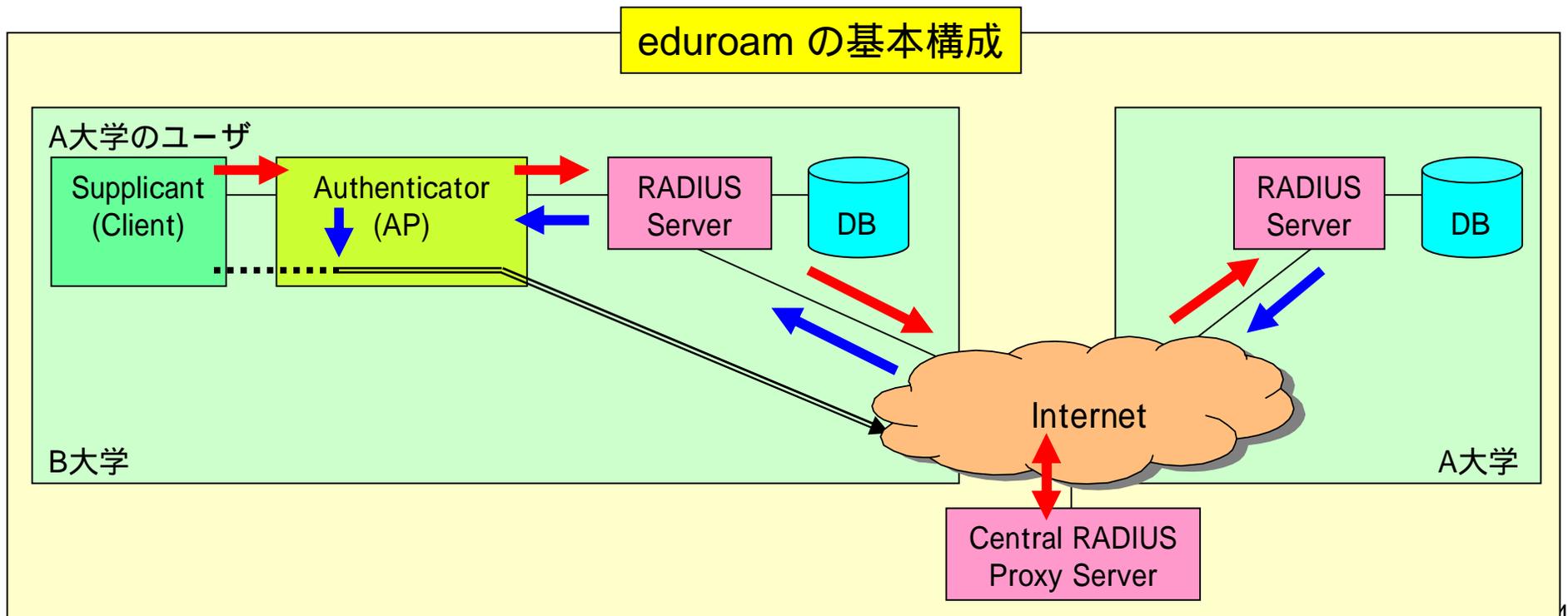
本年度実施内容

- 国内におけるテストベットの構築
 - 各大学に設置した認証サーバを相互連携することにより、訪問先機関での無線LAN利用を可能にする
 - 実証実験を通して問題点を洗い出す
 - UPKIを用いた本格運用の検討
 - 参加機関：5機関(2006年8月現在)
 - 北海道大学, 東北大学, 京都大学, 九州大学, 国立情報学研究所

関連サービス

■ eduroam

- ヨーロッパ中心とした学術組織による無線LANローミングインフラ(ヨーロッパのデ・ファクト・スタンダード)
- オーストラリア, 香港, 台湾等も参加
- RADIUSサーバ連携による認証インフラ(ID/Password利用)



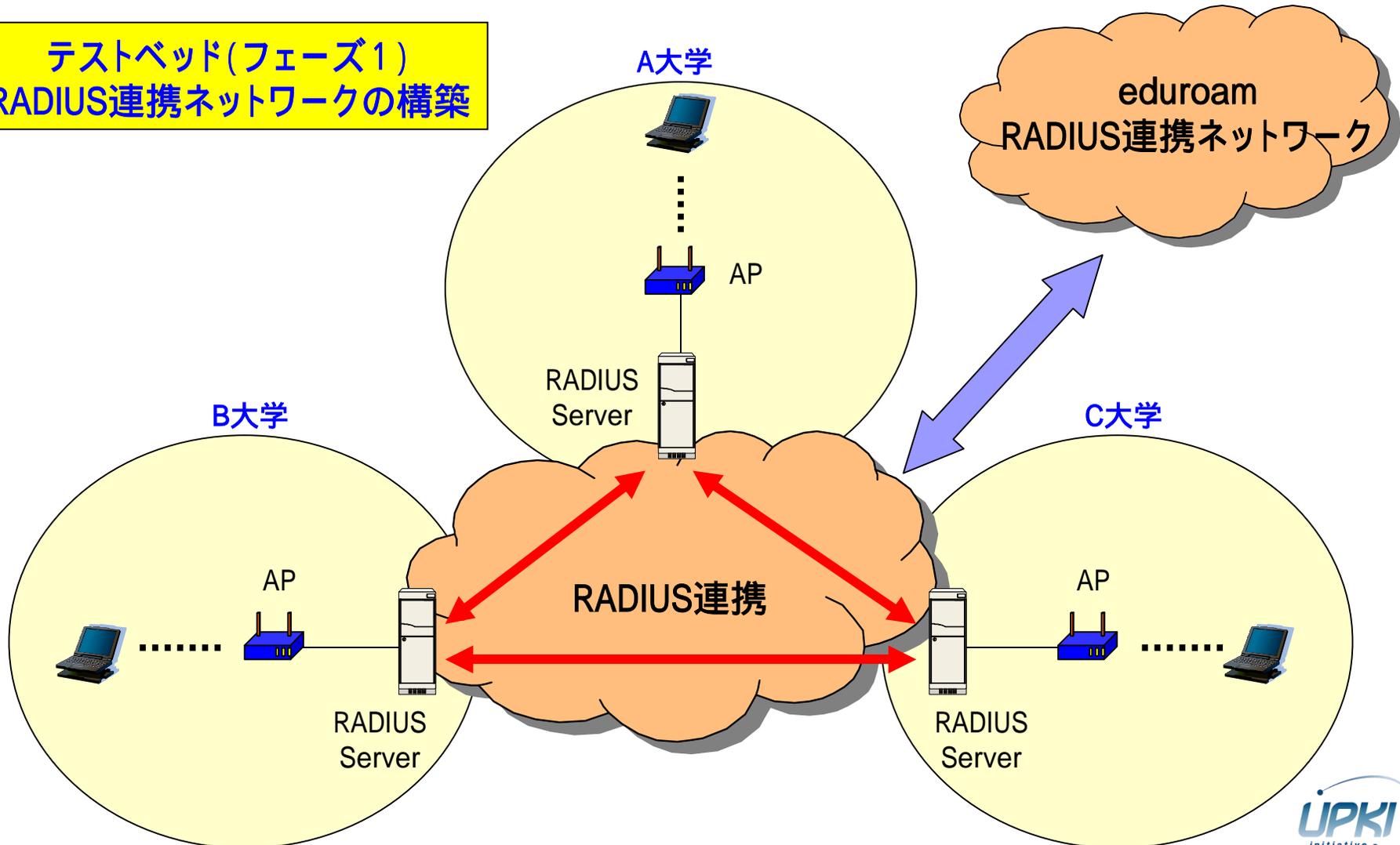
研究開発フェーズ

- フェーズ1 (2006年度)
 - 組織間連携
 - 将来の国際連携も考慮し, eduroam 互換の RADIUS 連携方式でスタート
 - eduroam 接続試験
 - RADIUS 方式の問題点整理

- フェーズ2 (2007年度以降)
 - PKIを含む組織間連携
 - PKI を用いた RADISU 連携方式の強化
 - RADISU 連携を UPKI へ移行

RADIUS連携による組織間相互認証

テストベッド(フェーズ1)
RADIUS連携ネットワークの構築



今後の予定

- 無線LANローミング先行導入機関の調査
(相互乗り入れを含めた検討)
- 無線LANローミングのための相互運用ポリシーの検討
- テストベット運用事例を基に、相互認証の技術的及びセキュリティに関する問題点の洗い出し
- 各機関で導入(または導入を検討)している認証基盤との認証連携方式の検討
- eduroam 参加による国際連携のための実証実験環境構築